愛宕小　夢プロジェクト　「子供たちに、夢のある体験を」

１　「徳川家康公像の作者　神戸峰男先生の粘土の授業」

文化芸術による子供育成推進事業　子供　夢・アートアカデミー（文化庁）
令和６年６月１４日　４～６年生

日本芸術院会員で、日本を代表する彫刻家の神戸峰男先生を講師にお招きして、粘土の授業を行いました。

一緒に来校された５名の先生方は、皆さん、第一線で活躍されている彫刻家の方々。子供たちは「自分の好きなもの」「心が動くもの」をテーマに、自由に制作に取り組みました。

作品は、一つ一つ丁寧に梱包して運ばれ、瀬戸市の鈴木紹陶武先生の工房で焼成され、おかざきっ子展や学区の文化祭に展示されました。

７月２９日には、家康公像の周りに四神像が設置され、その除幕式には、子供たちもお邪魔して先生と一緒に記念撮影をしました。子供たちの心に残る、体験でした。

来校された先生方　　鈴木紹陶武先生（瀬戸市）
廣川　政和先生（千葉県）
田中　厚好先生（三重県）
田上　万豊先生（名古屋市）
加藤　真浩先生（岡崎市）

ゴジラとメカゴジラを作って、かっこよく作れたなあと思いました。ぼくが何を作ろうか考えていたら、鈴木先生が「粘土は、自由だから何を作ってもいいんだよ。」と言われて、その後に「戦わせるのもいいんじゃない。」とアドバイスをくれたので、戦わせるようにしたら、すごくかっこよくできました。神戸先生やいろいろな先生が愛宕小学校に来てくれてうれしかったです。（４年男子）

粘土の授業は、とても楽しかったです。私は、自分のイメージをそのまま工作で作るのが好きなので、集中して取り組めました。丈夫にするためにはどうしたらよいかなど、質問すると優しく教えてくださり、いい作品になりました。　　（５年女子）

粘土の授業を受けて、粘土がこんなにも楽しいものだということを知りました。わたしは、粘土があまり好きではなかったけど、今回の授業は、粘土が楽しかったです。クマを作るために丸を作ろうとしたけど、上手にできませんでした。困っていたら、田中先生が上手に作る方法を教えてくれたので、うまく作ることができました。（６年女子）